

ウェット製品について

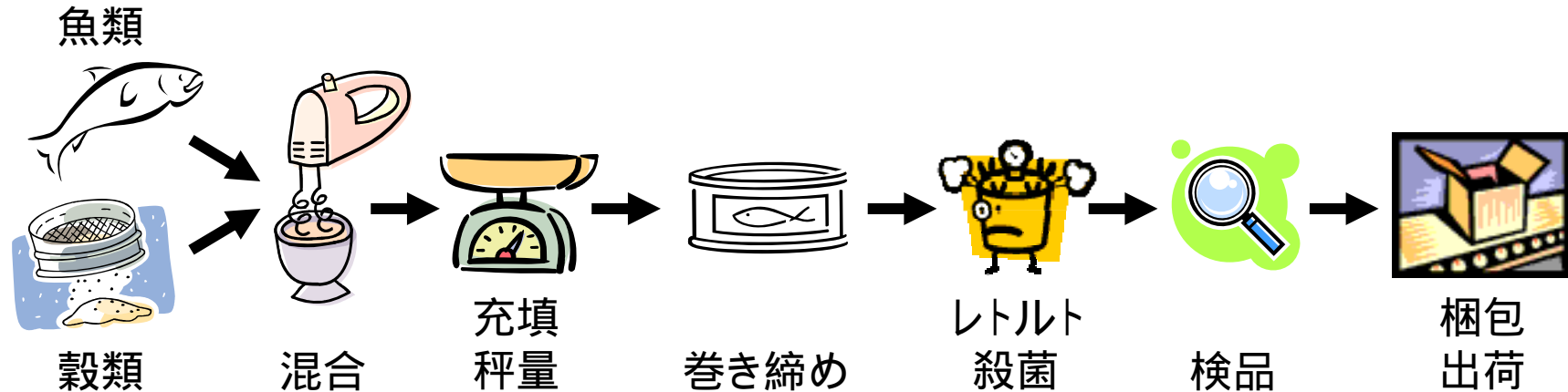
概要・製造工程・重要管理点

ペットフード工業会
技術安全委員会

ウェット製品の概要

定義	水分量が60～80%の密封容器入りペットフード
特徴	密封容器のため製品の保存期間は長いですが、開封後の劣化は早い
種類	<p>【容器形状】 缶詰(犬用の82%、猫用の88%を占める)、レトルトパウチ、アルミトレー</p> <p>【原材料】 犬用: 畜肉類とその副産物、穀類、植物蛋白、野菜類などが主原料 猫用: 魚(カツオ、マグロ)の生肉または血合い肉、総合栄養食では穀類、デンプン類も使用</p>
業界	<p>【市場規模-出荷量】 犬用ウェット: 69,000t(犬用ペットフードの14.4%) 猫用ウェット: 107,000t(猫用ペットフードの39.7%)</p> <p>【生産地】 犬用: 国産7%、輸入93%(豪州産が輸入の63%) 猫用: 国産14%、輸入86%(タイ国産が輸入の87%)</p> <div data-bbox="1585 1034 1939 1369"> <p>参考: ペットフードの構成比</p> </div>

製造工程と重要管理点(缶詰)



工 程	原材料	加工	検品	梱包・出荷
重 要 管理点	微量有害物質、 病原性微生物汚 染、異物、ヒスタ ミン濃度等	巻き締め レトルト条件	容器の密封性確認 のための恒温試験 (一定期間、恒温貯 蔵後の製品を検品)	表示等